産業振興に向け 積極的な支援策を

京西　且哲 議員

【問】直近の工業統計調査では、製造業の経済指標は、「岸和田市産業振興新戦略プラン」策定時と比較し、付加価値額で33％減、年間投資総額で30％減、生産額で26％減、製造品出荷額等で18％減とすべての項目で大きく落ち込んでいる。

新戦略プランでは、ものづくりが岸和田の強みで、新素材の開発や新素材型産業の形成に取り組むとともに、企業や工場の誘致も積極的に行うこととしている。

産業は市民生活を支える基盤になる。振興策としてのものづくり支援と企業・工場誘致について聞きたい。

【答】ものづくり支援として、新商品・技術開発のための共同研究や開発した製品の展示会出展に対し、経費の一部を助成している。

このほか、新産業にチャレンジする企業に対して、中小企業診断士による訪問や異業種交流会の開催などの支援を行っている。

企業・工場誘致は、阪南2区を中心に進めてきた。第1期製造業用地への誘致策として、固定資産税相当額の助成制度を定め、現在11社が活用している。

港湾物流用地として整備する保管施設用地については、インフラ整備を行い、平成25年度末ごろに公募していく。

泉州地域８市の工業統計　（製造品出荷額等：億円）

市名	H.22年	前年比	市名	H.22年	前年比
岸和田	1,932	−209	貝　塚	2,318	30
高　石	8,606	4,532	泉佐野	2,148	−167
泉大津	1,478	42	泉　南	660	−3
和　泉	1,471	−128	阪　南	208	18

資料：工業統計調査より抜粋

がん予防、早期発見 本市の対策は

その他の質問
○予防接種について

桑原　佳一 議員

【問】子宮頸（けい）がんは、ワクチン接種により70％は予防できると言われている。このワクチン接種の大切さを、中学校の保健体育授業に取り入れてはどうか。

【答】学習指導要領にある「生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる」という観点から、予防ワクチン接種などを正しく理解することが大切である。今後、保健だよりや保健指導の時間などを活用しながら、取り扱うように努めていく。

【問】早期発見のため、がん検診の受診率向上にどう取り組んでいるか聞きたい。

【答】がん検診と他の検診をセットで実施しているほか、土・日曜日の乳がん・大腸がん検診、自宅に近い施設で受診できる巡回検診なども実施している。

また、6月に町会へ受診勧奨のチラシの回覧を依頼するとともに、公民館などにも置いている。

【問】国の「がん対策推進基本計画」に基づく、市民病院でのがん治療の取り組みについて聞きたい。

【答】常勤の放射線治療医の確保やがん専門看護師などによる相談を実施している。このほか、放射線治療器の更新や緩和ケア病棟開設に向け準備を行っている。

家族もゆったり（緩和ケア病室）

みんなが望む 安全で安心な通学路

岸田　厚 議員

【問】歩車道の区分がない道路を通学路とせざるを得ない現状のなか、今年も接触事故が発生した桜台中学校前の府道の対策をどうするのか聞きたい。

【答】事故の発生が多い道路であると認識している。毎年、学校からも改善の要望があり、その対策について府に働きかけを行っている。府は、平成22年度から歩道確保のため一部の区間で側溝のふた掛けを実施している。しかし、新たな歩道設置については、道幅も狭く、用地買収などに多額の費用が必要となることもあり、早急な改善は難しいと考えられる。

歩道のない危険な通学路

【問】地域防災計画を受けて、福祉避難所や要援護者の緊急避難の対応において課題が明らかになった。これらの課題を解決するための年次計画や体制について聞きたい。

【答】具体的な年次計画は策定していないが、避難所指定担当職員に対して研修・訓練を行うとともに、高齢者や障がい者が安心して一次避難所に避難できるような施設の整備を進める。

また、長期の避難が必要な場合などに備え、高齢者や障がい者が生活しやすい福祉避難所を確保するため、施設管理者と協議を進めていく。

カーネーションのまち さらなるにぎわいを

池内　矢一 議員

【問】カーネーション効果を持続、発展させる取り組みについて聞きたい。また、観光振興による経済効果も重要と考えるがどうか。

【答】朝ドラの舞台となった各市とネットワークを構築し、舞台地の魅力を全国に発信していく。同時に、ドラマのゆかり地や観光名所を巡るまち歩き観光に取り組むほか、観光資源の豊富な山手への観光にも力を入れていく。

また、経済効果を高めるため、岸和田の名産品などの販売を促進したり、市内各店舗を紹介したマップを配布している。観光客の消費活動が活発になるよう更に検討していく。

【問】本市の観光の原点はだんじり祭りであり、その拠点であるだんじり会館を集客力・収益力のある観光産業の核として、また、まちづくりの場として再構築してはと考えるがどうか。

【答】だんじり会館は、現在の立地などでは規模の拡大や館内サービスの拡張、駐車場の新たな設置などが容易でない。また、城周辺の他の観光施設との調和や景観などにも配慮する必要がある。

今後、将来のだんじり会館のあり方について多方面から調査・研究していく。

まちの魅力を再発見

政策討論会を開催

議会基本条例の取り組みの一環として、3つの分科会でテーマを設定し、各議員が活発に意見交換を行いました。

第1分科会では「岸和田の歴史と伝統文化について」、第2分科会では「ごみ問題について」、第3分科会では「防災について」を議論してきました。

その中で出された意見は、全体会議の中で各分科会座長が報告し、議員間で問題意識を共有しました。

ポイントを集めて 健康の促進を

友永　修 議員

【問】高齢化による扶助費などの増加が懸念される。豊岡市などの健康ポイント制度を参考に、健康促進と扶助費抑制への取り組みを推進すべきと考えるがどうか。

【答】健康ポイント制度は、対象イベントへの参加やスポーツ施設の利用で集めたポイントにより賞品などが当たる制度で、健康増進や介護予防のきっかけになる取り組みと考える。今後、先進自治体の事例を参考に調査・研究していく。

【問】生活保護受給者が増え続ける状況のなかで、働き世代への自立支援を充実させる必要がある。

従来の就労支援だけでなく、就労意欲喚起のため、ボランティアを体験してもらう釧路市の取り組みや、就職活動支援を事業としている民間企業やＮＰＯ法人のノウハウを取り入れるべきと考えるがどうか。

【答】就労意欲を喚起する事業や個別のニーズに応じた求人の開拓を行うにあたっては、福祉事務所の就労支援員との連携のもと、民間の事業者やＮＰＯ法人のノウハウを活用していくことは有効と思われる。

これらの事業を委託できる事業者やＮＰＯ法人が存在するかなども含め、実施が可能かどうか調査・研究していく。

みんなでいきいき健康体操